

製品名: UBE2I マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81050**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	18kDa

抗原情報

遺伝子名	UBE2I
別名	P18; UBC9; C358B7.1
遺伝子 ID	7329.0
SwissProt ID	P63279
免疫原	大腸菌で発現したヒト UBE2I の精製された組み換え断片。

背景

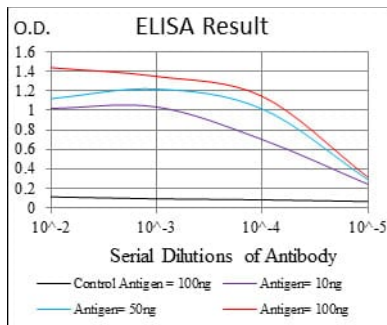
ユビキチンによるタンパク質の修飾は、異常なタンパク質や短寿命タンパク質を分解対象とする重要な細胞機構です。ユビキチン化には、少なくとも 3 種類の酵素、すなわちユビキチン活性化酵素 (E1)、ユビキチン結合酵素 (E2)、そしてユビキチンタンパク質

リガーゼ (E3) が関与します。この遺伝子は、E2 ユビキチン結合酵素ファミリーのメンバーをコードしています。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする4つの選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。

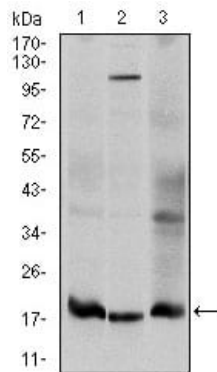
研究分野

-

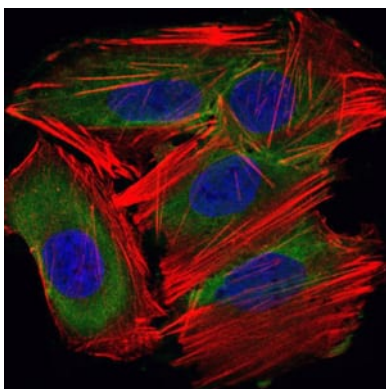
画像データ



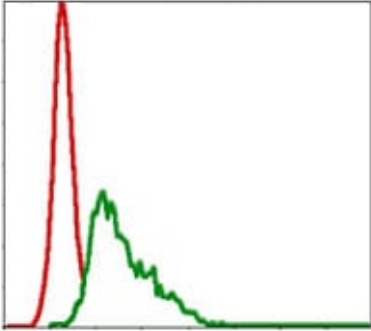
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



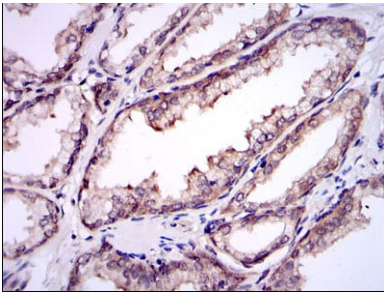
Hela (1)、HepG2 (2)、および Cos7 (3) 細胞溶解物に対する UBE2I マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



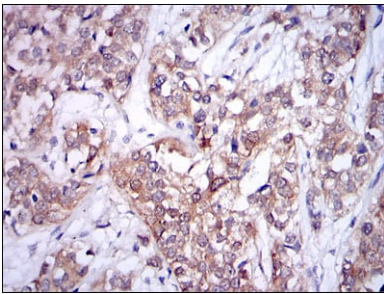
UBE2I マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



UBE2I マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



UBE2I マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺組織の免疫組織化学分析。



UBE2I マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。